

mont·bell

取扱説明書

レスキュー キャリーハーネス

Rescue Carry Harness

この度はお買いあげいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書（以下「本説明書」といいます）は本製品の正しい取扱方法を説明しています。ご使用前に本説明書をよくお読みいただき、正しい使用方法をご確認ください。

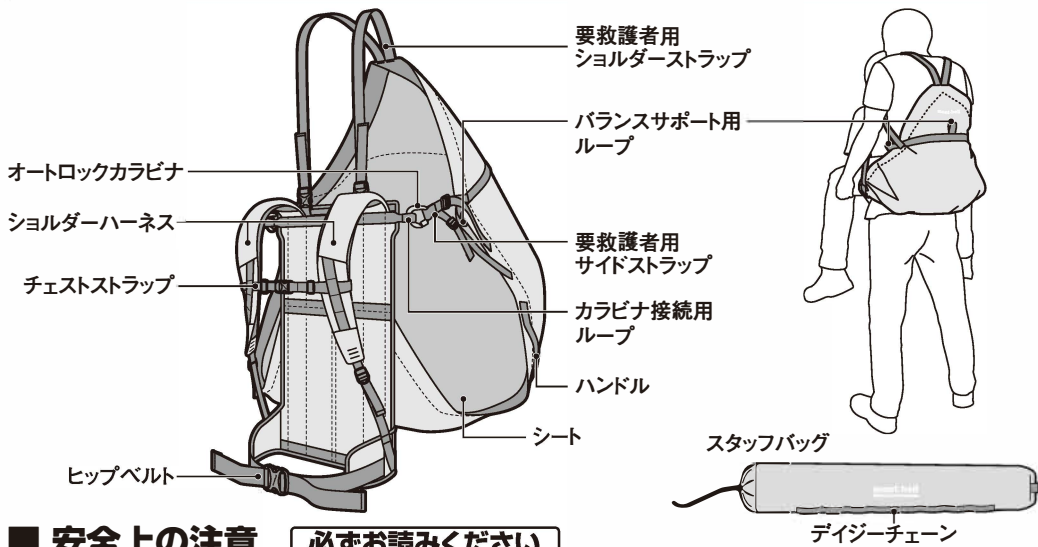
ただし、本説明書は本製品の基本的な使用方法を示すものであり本製品の安全システム全体を解説するものではありません。本製品を正しく使用するための適切な指導を受けてください。また、本製品の機能とその限界、使用する活動に伴う危険について十分理解してください。

なお、ご不明な点等ございましたら、販売店もしくは（株）モンベル カスタマー・サービスまでお問い合わせください。本説明書は大切に保管してください。また、本説明書を紛失した際は弊社ウェブサイトよりダウンロードすることができます。

■ 特長

本製品は要救護者の搬送に使用する、背負搬送具です。独自の袋状の構造で搬送時に要救護者にかかる負担を軽減します。ヒップベルト一体型のフレーム入りの背面パッドが、搬送者（背負う人）にかかる荷重を分散し、負担を軽減します。また、搬送時に両手が自由になるため、安全な移動が可能です。

■ 各部の名称



■ 安全上の注意

必ずお読みください

⚠ 危険 人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容です。

- 本製品の最大使用荷重は80kgです。本製品の限界を超えて使用しないでください。また、本来の用途以外（ベビーキャリアや荷物の運搬など）には使用しないでください。
- 本製品は使用方法を熟知していて責任能力のある人、あるいはそれらの人の目の届く範囲で直接指導を受けられる人のみ使用してください。また、使用前に十分な訓練を行い、使用する活動に伴う危険について理解してください。
- 本製品を使用し、要救護者を背負っているときは、腰を曲げて前屈みにならず、膝で屈むようにしてください。バランスを崩し要救護者を乗せたまま転んだりするなど、事故につながる恐れがあります。

- 本製品は最低でも二人以上（背負う人、サポートする人）で使用してください。絶対に一人で使用しないでください。
- 本製品の使用中は、要救助者に過度な圧迫がかかったり、気道をふさぐことがないようにしてください。また、背負う人、サポートする人共に、要救助者の体調や状態に常に注意を払ってください。
- 本製品の改造や分解などは絶対にしないでください。性能が損なわれ、十分に保護能力が発揮できない恐れがあります。本製品の改造に起因する損害事故、負傷事故、死亡事故について、一切の責任を負いません。

警告 場合により人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
軽傷または物的損害が発生する頻度が高いことが想定される内容です。

- 本製品は一人用です。二人以上の人を背負わないでください。
- 使用方法をご覧のうえ、要救護者に合わせて各テープを正しく調節してください。正しく調節しないと本来の性能が発揮できない恐れがあります。
- 本製品は、大人が背負うように設計されています。お子さまが背負うと、事故の原因となります。
- 本製品を使用する際は、ヒップベルトのバックル、要救護者用ショルダーストラップのバックル・サイドストラップのバックルとカラビナが確実に固定されていることを確認してください。バックルやカラビナが正しく固定されていないと要救護者が転落する恐れがあります。
- 本製品を背負うときや降ろすときは必ずサポートする人と共に、周囲に障害物がないか、要救護者の安全を十分に確認した上で行ってください。
- 本製品を背負うときや降ろすときはできるだけ慎重にゆっくりと行ってください。要救護者が転落する恐れがあります。
- 要救護者を乗せて背負った本製品を必要以上に振ったり、揺すったりしないでください。バランスを崩し要救護者を乗せたまま転んだりするなど、事故につながる恐れがあります。
- 使用前は毎回必ず点検をしてください。老朽化が認められる場合や損傷が認められたり、疑わしい場合は直ちに本製品の使用を中止してください。本来の性能が発揮できない恐れがあります。
- 正しいお手入れ方法、保管方法を守ってください。誤ったお手入れや保管方法を行うと、本来の性能を発揮できない恐れがあります。

■ 使用前の点検

使用にあたっては、毎回必ず次のことを確かめてください。
異常が見られた場合は使用しないでください。

- 各バックルやカラビナにひびや変形が見られないか
- シートに破れなどがいないか
- ショルダーハーネスやストラップに破損などがいないか

器具の状態は、搬送者、要救護者の安全に大きく関係します。使用前の点検に加えて、十分な知識のある適任者による詳細な点検を最低でも6か月に1度行ってください。使用頻度によってはより頻繁に点検を行ってください。また、使用開始日、購入日、点検日、点検者の記録をしてください。

■ 使用方法

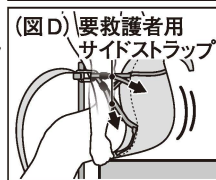
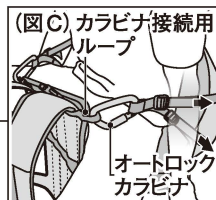
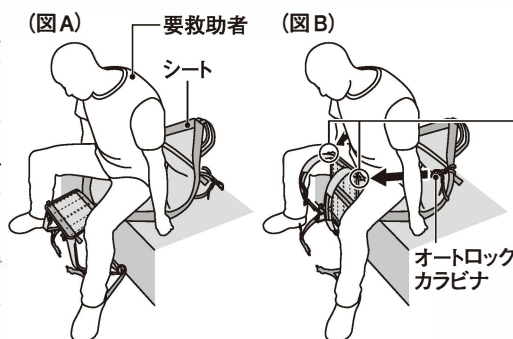
○要救護者の背負い方について

※本製品は最低でも二人以上（背負う人、サポートする人）で使用してください。
絶対に一人で使用しないでください。

①シートを広げ要救護者をシートに座らせます（図A）。段差などを利用しシート部分を高くすると背負いやすくなります。

②シート左右のオートロックカラビナを、要救護者の脇の下を通し、背面パッド両側のカラビナ接続用ループに接続します（図B,C）。オートロックカラビナのゲートが確実に閉じていることを確認してください。

※オートロックカラビナの詳しい使用法は、次ページ「オートロックカラビナの使用法」を確認してください。



③左右の要救護者用サイドストラップを引き、シートを要救護者の太ももと腰回りに密着させます(図C,D)。

④ショルダーハーネスに腕を通します。ショルダーストラップ、チェストストラップ、ヒップベルトを締めて、すき間がないように調節します(図E)。

⑤上半身を前傾させて、ゆっくりと腰から立ち上がります。必ず後ろで一人が支えてください(図F)。

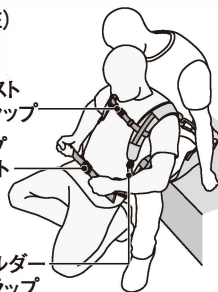
※勢い良く立ち上がると前方に転倒する恐れがあります。

⑥要救護者用ショルダーストラップのバックルを締めて、ストラップの長さを調節します(図G)。要救護者の負担を軽減するために、ハンドルを引いて腰の深さと足の角度を調節してください(図H)。

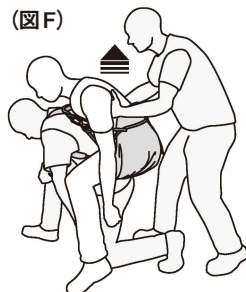
(図E)

チェスト
ストラップ
ヒップ
ベルト

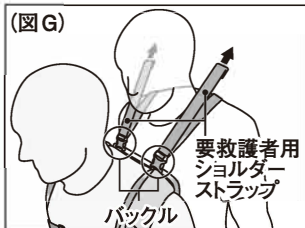
ショルダー
ストラップ



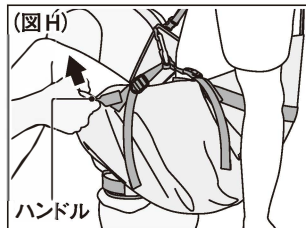
(図F)



(図G)

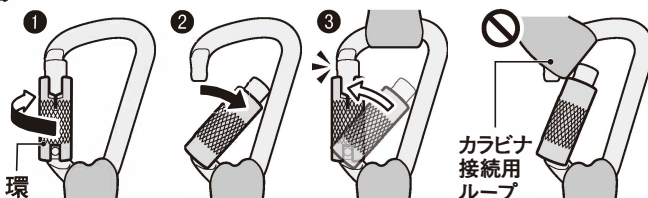


(図H)



○オートロックカラビナの使用方法

- ①カラビナの環を90度回します。
- ②環を回した状態でゲートを開いてください。
- ③ゲートを離すと自動で閉まり、ロックがかかります。



※カラビナ接続用ループに接続する際は、ゲートが確実に閉じていてロックがかかっていることを確認してください。

○要救護者の降ろし方について

要救護者を降ろす際は「要救護者の背負い方について」の①～⑥の手順を逆に行ってください。

○バランスサポート用ループについて

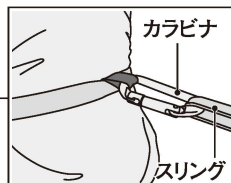
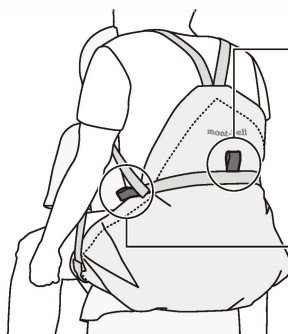
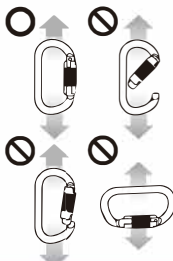
シート左右と中央にある3か所のループは、サポートする人が搬送者の歩行のバランスをサポートするために使用できます。カラビナやスリングなどを接続して使用してください*。接続する器具の取扱説明書及び、最新の規格を確認し、正しい使用方法や機能的な限界を確実に理解してください。

※アクセサリカラビナやアクセサリロープなどは絶対に使用しないでください。

※自己確保や懸垂下降などの荷重のかかるような使用は絶対にしないでください。

⚠危険

カラビナは右図のような向きで力がかかるように使用してください。また、使用中は常に、ゲートが確実に閉じていて、ロックがかかっていることを確認してください。ゲートが開いた状態や誤った向きで使用すると、破断の恐れがあり、大変危険です。



警告

- 本製品は引き上げや引き降ろし、吊り上げや吊り下げなどの体重を支える目的でロープに直接接続することはできません。
- 本製品を使用中に懸垂下降などをする場合は、必ず搬送者、要救助者ともに別途ハーネスなどを着用し、各々のライフラインを確保してください。

お手入れ方法

間違ったお手入れ方法や保管方法は本製品の寿命を縮めます。使用後や保管時は以下の点を参考にしてください。

- 汚れがひどい場合は40℃までのぬるま湯と中性洗剤を使ってください。洗剤成分が残らないように十分すすいでください。乾燥は直射日光を避けて風通しの良い日陰を選んでください。

保管方法

- 使用の有無や保管状態にかかわらず、本製品は時間の経過とともに徐々に素材の強度が失われてゆきまします。また直射日光下での放置はさらに著しく強度が失われますので避けてください。
- 湿度の高い環境での保管は、金属部分の腐食、繊維部分の変質・強度低下の恐れがあります。
- 本製品を火のそばや暖房器具のそばなどの高温になる所に置かないでください。変形や損傷の原因になります。

廃棄方法

- 廃棄方法はお客様の自治体の収集方法に従ってください。

アフターサービス

お問い合わせいただきました本製品は万全を期して製造しておりますが、万一不備な点がございましたら、お問い合わせいただいた販売店、もしくは下記の弊社窓口までご連絡ください。

製造上の欠陥による不具合の場合は無償で交換させていただきます。なお、修理、交換等の要否につきましては、弊社の裁量にて判断させていただきます。

なお、以下のような原因での破損、不良につきましては保証いたしませんのでご了承ください。

- 本製品の誤った使用方法によるもの
- 間違ったお手入れ、保管方法、経年変化による素材劣化
- 乱暴な取り扱いによるもの
- その他、製造上の欠陥以外の原因によるもの

破損時は弊社にて診断をして、修理が可能な場合はご要望により有償にて修理をさせていただきます。

仕様

品番: 1223446
品名: レスキュー キャリーハーネス
主素材: ナイロン
最大荷重: 80kg

その他

本製品の仕様、デザインは予告なく変更されることがあります。また、重量などのスペックには誤差が生じる場合があります。

mont-bell

User's Manual

Rescue Carry Harness

Rescue Carry Harness

Thank you for purchasing this product. Before using, please carefully read this manual for instructions on the proper care and usage of this product.

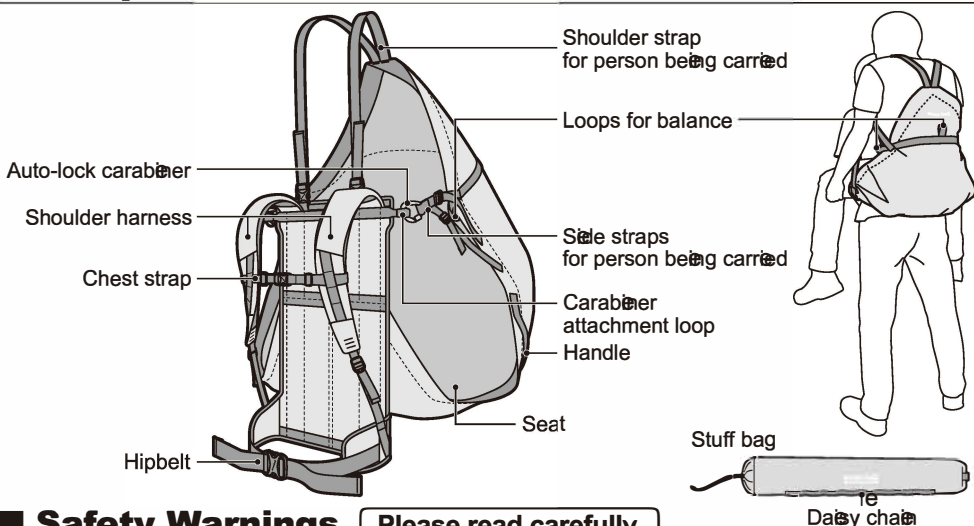
Please understand this manual only explains how to use the product and does not go into detail regarding using the product safely. You are personally responsible for learning the proper techniques and safety procedures for using this equipment.

If you have any questions regarding this product, please contact Montbell Customer Service or the store of original purchase. Keep this manual for future reference. If you lose this manual, you can download a data file from our website.

■ Description

This product is made for carrying an injured person on the back in emergency situations. The specialized pouch-like structure reduces strain on the person being carried, while the framed back pad with integrated hipbelt effectively distributes the load to reduce the burden on the carrier. The design keeps both of the carrier's hands free to facilitate safe transport.

■ Components



■ Safety Warnings

Please read carefully.



DANGER!

Under certain conditions, use of this product can result in major injury or death.

- The maximum load for this product is 80 kg. Do NOT use this product if exceeding the load limit. Do NOT use this product for any other activity for which it is not designed (e.g., carrying a baby or luggage).
- This product should be used only by persons who have thorough knowledge of and can assume responsibility for its use, or by someone who can be directly supervised by such a person. Before using the product, be sure that you are fully trained and understand the hazards associated with the activity in which the product is to be used.
- When using this product and carrying an injured person, do NOT bend forward at the waist. Bend at the knees. Bending forward at the waist may result in accidents, such as losing balance and falling with a person requiring emergency aid sitting on the back.
- This product must be used by at least two people (one carrying and one providing support) when carrying an injured person. Do NOT use this product by yourself.

- While using this product, do NOT apply excessive pressure on or obstruct the airway of the person being carried. The person carrying the product and the person providing support should always be paying attention to the physical condition of the person being carried.
- Do NOT modify or alter this product. Improper modifications and alterations can damage the product and impair functionality.

⚠ WARNING! Under certain conditions, use of this product can result in injury, death, or property damage.

- This product is for carrying one person. Do NOT carry two or more people.
- Refer to the directions and adjust each strap correctly according to the person being carried. Failure to do so may lead to a decrease in performance.
- This product is designed to be carried by an adult. If children use this product, it may cause accidents.
- When using this product, make sure that the hipbelt buckle, the shoulder and side strap buckles for the person being carried, and carabiners are securely fastened. If the buckles and carabiners are not properly fastened, the person being carried may fall.
- When lifting or lowering this product, always do so with a support person, making sure that there are no obstacles in the vicinity and that the person being carried is safe.
- When lifting or lowering this product, do so as carefully and slowly as possible. Failure to do so may cause the person being carried to fall.
- Do NOT shake or swing this product more than necessary when carrying a person. May lead to accidents, such as the person carrying the product losing balance and falling with a person being carried on the back.
- Prior to use, check the product's condition and stop using immediately if you notice any deterioration from age/use, damage or irregularities.
- Please follow recommended care and storage instructions. Improper care and storage can lead to a decrease in performance.

■ Prior to use, inspect this product for: Stop using immediately if you notice any irregularities.

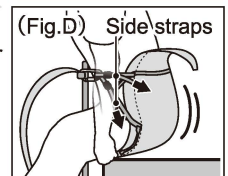
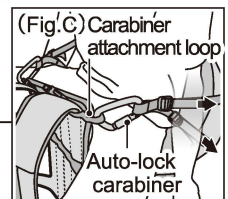
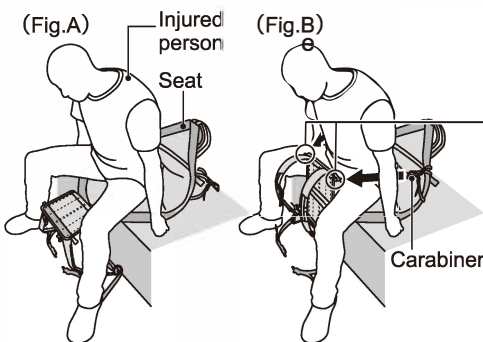
- Cracks or deformation in the buckles and carabiners
- Tears in the seat
- Damage to the shoulder harness or strap

The condition of the equipment has a significant impact on the safety of the person carrying and the person being carried. In addition to a pre-use inspection, a detailed inspection by a competent and knowledgeable person should be performed at least once every 6 months. Depending on the frequency of use, inspections should be performed more frequently. Record the start date of use, date of purchase, date of inspection, and name of inspector.

■ Directions

- **Carrying an injured person on the back**
- ※ This product must be used by at least two people (one carrying and one providing support) when carrying an injured person. Do NOT use this product by yourself.

① Spread out the seat and place the person to be carried on the seat (Fig. A). Raise the height of the seat by placing it on a step, or through other means, to lift and carry the person more easily.



② Pass the carabiners on both sides of the seat under the armpits of the person to be carried, then connect them to the loops on both sides of the back pad (Fig. B and C). Make sure that the locking sleeves on carabiners are securely closed.

※ For detailed instructions on how to use the carabiner, refer to "Using the auto-lock carabiner" on the following page.

3 Pull the straps on left and right sides to fit the seat close to the thighs and waist of the person to be carried (Fig. C and D).

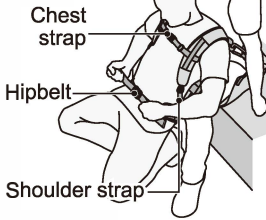
4 Pass the arms through the shoulder harness. Tighten and adjust the shoulder straps, chest strap, and hipbelt so that there are no gaps (Fig. E).

5 Slowly rise from the waist, leaning your upper body forward. Be sure to have one person behind you who can provide support (Fig. F).

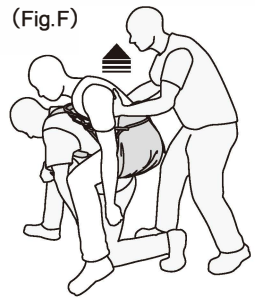
*Standing up with force may cause you to fall forward.

6 Fasten the buckle on the shoulder strap for person being carried and adjust the length of the strap (Fig. G). To reduce the strain on the person being carried, pull the handles to adjust the depth of the waist and the angle of the legs (Fig. H).

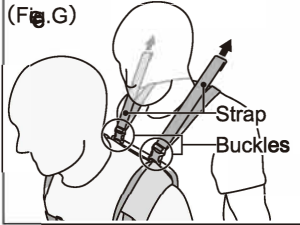
(Fig.E)



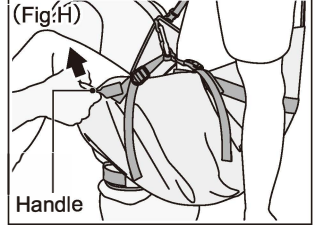
(Fig.F)



(Fig.G)



(Fig.H)

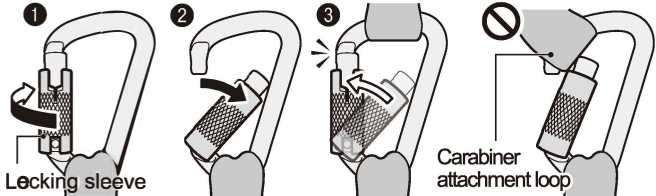


Using the auto-lock carabiner

1 Twist the locking sleeve 90 degrees.

2 Open the gate while keeping the sleeve twisted.

3 The sleeve automatically locks the gate when you release it.



*Make sure that the gate is securely closed and locked when connecting to the carabiner attachment loop.

Lowering a person being carried on the back

To lower a person being carried on the back, do in reverse steps 1-6 in "Carrying an injured person on the back".

Loops for balance

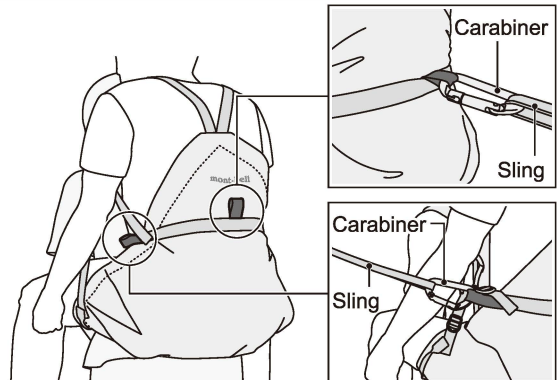
Three loops on the left, right and center of the seat can be used by the person who is providing support to help balance the carrier's gait. Connect carabiners, slings, or other devices to use*. Check the user's manual and the latest standards for the device to be connected to ensure proper use and understanding of its functional limitations.

*Do NOT use accessory carabiners or accessory ropes.

*Do NOT use this product for self-securing, rappelling, or for any other load-bearing uses.

⚠ DANGER!

Use the carabiner so that force is applied in the direction as shown in the figure on the right. Always make sure that the gate is securely closed and locked during use. Using the carabiner with the gate open or in the wrong direction may cause it to break, which is dangerous.



WARNING!

- This product is NOT designed to be connected directly to a rope for the purpose of weight bearing such as lifting, lowering, or suspending.
- When rappelling while using this product, both the person carrying and the person being carried must use separate harnesses or other equipment to secure the lifelines of each person.

■ **Care**

Improper care and storage of this product can shorten its lifespan.
Follow the recommendations below to extend the lifespan of your product.

- When heavily stained or soiled, use lukewarm water under 40°C with mild soap. Wash and rinse thoroughly. Dry in a well-ventilated, cool, dry place away from direct sunlight.

■ **Storage**

- Regardless of use and storage, this product will gradually weaken with age. Placing it in direct sunlight will significantly decrease the product lifespan.
- Storage in a humid environment may cause corrosion of metal parts and alteration and loss of strength in fabric parts.
- To prevent deformation and damage, do NOT store near heat sources.

■ **Disposal**

- Please follow local regulations regarding waste disposal.

■ **Warranty**

Montbell's warranty covers all defects in materials and workmanship to the original owner, for the lifetime of the product. If a product ever fails due to a manufacturing defect, Montbell will repair or replace the product at Montbell's discretion. This warranty does not cover damage(s) caused by accident, improper care, negligence, misuse, alterations or normal wear and tear. Damage(s) not covered under warranty will be repaired at a reasonable rate. If you would like to make a warranty inquiry, please contact Montbell Customer Service or the store of original purchase.

■ **Specifications**

Style# : 1223446
Name : Rescue Carry Harness
Material: nylon
Load capacity: 80kg

All product specifications and design are subject to change without prior notice.
Actual product specifications may vary.

mont-bell Co.,Ltd.

2-2-2 Shinmachi, Nishi-ku, Osaka 550-0013 JAPAN
<https://www.montbell.com/>